科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
ＯＡ演習	3	キャリア養成学科 １年コース	１年	必修

担当教員	職名　講師　　氏名　上野　悠希
教科に係る実務経験等	
使用教材	日本語ワープロ検定準２級・２級問題集　情報処理検定準２級・２級問題集
副教材等	日本語ワープロ検定準１級・１級問題集　情報処理検定準１級・１級問題集

講義の概要
社会人として最低限必要なWord・Excelの技能を身に付けさせる。
授業の到達目標及びテーマ
１．Wordソフトを使用し、ビジネス文書の形式や構成要素を理解し、社外文書や社内文書が作成できる ２．Excelソフトを使用し正確なデータ入力、必要に応じた関数を使用し、情報処理能力を身につけさせる。 ３．年間４回行われる検定試験を受験し、各種検定２級以上の取得を目標とする 取得可能資格　：日本語ワープロ検定、文書デザイン検定、情報処理技能検定

授業計画	
４月	ビジネス文書の基礎、文字書体、文字飾り、表の加工
５月	体裁処理、ドロップキャップ、ワードアート
６月	画像挿入、図形挿入・加工、ページ罫線
７月	日本語ワープロ検定、文書デザイン検定練習問題演習
９月	Wordを用いたチラシ作成
10月	数値入力、端末処理、合計、平均
11月	オートフィル、表検索
12月	ＩＦ関数、グラフ挿入
１月	データベース関数
２月	情報処理技能検定練習問題
３月	情報処理技能検定練習問題

授業外学習	検定受験
考査出題方針	日本情報処理検定協会各種検定に準ずる問題とする。
課題・提出物	夏期課題及び作成物等
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	各考査の成績、検定受験状況、出席状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
ＯＡ演習Ｉ	4	キャリア養成学科 ２年コース	１年	必修

担当教員	職名　講師　　氏名　福田　悠來
教科に係る実務経験等	
使用教材	日本語ワープロ検定準２級・２級問題集　情報処理検定準２級・２級問題集
副教材等	日本語ワープロ検定準１級・１級問題集　情報処理検定準１級・１級問題集

講義の概要
社会人として最低限必要なWord・Excelの技能を身に付けさせる。
授業の到達目標及びテーマ
１．Wordソフトを使用し、ビジネス文書の形式や構成要素を理解し、社外文書や社内文書が作成できる ２．Excelソフトを使用し正確なデータ入力、必要に応じた関数を使用し、情報処理能力を身につけさせる。 ３．年間４回行われる検定試験を受験し、各種検定２級以上の取得を目標とする 取得可能資格　：日本語ワープロ検定、文書デザイン検定、情報処理技能検定

授業計画	
４月	ビジネス文書の基礎、文字書体、文字飾り、表の加工
５月	体裁処理、ドロップキャップ、ワードアート
６月	画像挿入、図形挿入・加工、ページ罫線
７月	日本語ワープロ検定、文書デザイン検定練習問題演習
９月	Wordを用いたチラシ作成
10月	数値入力、端末処理、合計、平均
11月	オートフィル、表検索
12月	ＩＦ関数、グラフ挿入
１月	データベース関数
２月	情報処理技能検定練習問題
３月	情報処理技能検定練習問題

授業外学習	検定受験
考査出題方針	日本情報処理検定協会各種検定に準ずる問題とする。
課題・提出物	夏期課題及び作成物等
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	各考査の成績、検定受験状況、出席状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
ＯＡ演習Ⅱ	３	キャリア養成学科 ２年コース	２年	必修

担当教員	職名　　講師　　氏名　上野 悠希
教科に係る実務経験等	
使用教材	プレゼンテーション作成検定１級・２級問題集
副教材等	

講義の概要
社会人として最低限必要なPower Pointの技能を身に付けさせる。
授業の到達目標及びテーマ
１．Power Pointソフトを使用し、効果的なスライド作成方法を習得させ、発表する力を身に付けさせる。 ３．年間４回行われる検定試験を受験し、各種検定２級以上の取得を目標とする。 取得可能資格　：日本語ワープロ検定、文書デザイン検定、情報処理技能検定 プレゼンテーション作成検定

授業計画	
４月	スライド番号、スライドデザイン、図形・画像挿入
５月	画面切り替え、アニメーション、表作成
６月	スライドマスター、グラフ挿入
７月	プレゼンテーション作成検定練習問題
９月	Wordを用いたチラシ作成
10月	プレゼンテーション作成検定練習問題
11月	卒業制作発表準備
12月	卒業制作発表準備
１月	卒業制作発表準備
２月	卒業制作発表準備
３月	卒業制作発表

授業外学習	検定受験
考査出題方針	日本情報処理検定協会各種検定に準ずる問題とする。
課題・提出物	夏期課題及び作成物等
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	各考査の成績、検定受験状況、出席状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
エアロビクス	2	キャリア養成１年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　畠中　和子
教科に係る実務経験等	エアロビクス指導歴４０年　健康･体力づくり事業財団認定
使用教材	
副教材等	

講義の概要
運動の必要性を体感し、効果的な身体の動かし方を修得する。 授業は実技と理論。
授業の到達目標及びテーマ
1　日常生活に運動習慣を取り入れる手段を習得する。チェックシートの活用。 2　正しい身体の動かし方を体感し、セルフでリセットできるようになる。 3　自身の身体と向き合うとともに、チームワークの楽しさ・大切さを身に付ける。

授業計画	
４月	現在の身体の状態を把握し（姿勢）正しい身体の動かし方を学ぶ
５月	体力作り運動①ダイナミックストレッチ、有酸素運動、筋トレ（各身体の部位）
６月	〃　②①＋リンパトリートメント＋リラクゼーション
７月	〃　③①＋②＋呼吸法
９月	〃　④①＋②＋③の復習、＋おはら祭練習（連休明け～）
10月	〃　④＋おはら祭の練習
11月	〃　④＋サーキットトレーニング　ウォーキング
12月	〃　④＋サーキットトレーニング　ウォーキング＋ランニング
１月	〃　④＋各症状に合わせたケア方法
２月	〃　④＋各症状に合わせたケア方法
３月	〃　④＋各症状に合わせたケア方法

授業外学習	
考査出題方針	
課題・提出物	
評価の観点	①意欲・関心 ②表現・技能　③知識・理解　④態度 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	実技、ペーパーテストによる理論、体力測定にて評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
エアロビクスⅠ	2	キャリア養成２年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　畠中　和子
教科に係る実務経験等	エアロビクス指導歴４０年　健康･体力づくり事業財団認定
使用教材	
副教材等	

講義の概要
運動の必要性を体感し、効果的な身体の動かし方を修得する。 授業は実技と理論。
授業の到達目標及びテーマ
1　日常生活に運動習慣を取り入れることができるようになる。チャックシートの活用。 2　正しい身体の動かし方を体感し、継続できる方法を学ぶ。 3　自身の身体と向き合うとともに、チームワークの楽しさ・大切さを身に付ける。

授業計画	
４月	現在の身体の状態を数字で把握する。体力測定、形態測定。
５月	体力作り運動①→ダイナミックストレッチ、有酸素運動、筋トレ
６月	体力作り運動②→①＋リンパトリートメント
７月	体力作り運動③→①＋②＋リラクゼーション
９月	健康作り運動①→深い呼吸、有酸素運動、＋おはら祭練習（連休明け～）
10月	おはら祭の練習
11月	健康作り運動②→①＋筋トレ
12月	寒い時期の運動①→サーキットトレーニング　ウォーキングバージョン
１月	〃　　②→サーキットトレーニング　ウォーク＆ランニング
２月	〃　　③→サーキットトレーニング　ランニング＆ジャンプ
３月	まとめ　運動と身体のケア方法

授業外学習	
考査出題方針	
課題・提出物	
評価の観点	①意欲・関心 ②表現・技能　③知識・理解　④態度 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	実技、ペーパーテストによる理論、体力測定にて評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
エアロビクスⅡ	2	キャリア養成２年コース	２年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　畠中　和子
教科に係る実務経験等	エアロビクス指導歴４０年　健康･体力づくり事業財団認定
使用教材	
副教材等	

講義の概要
安全で効果的な運動方法と一人でできるコンディショニング方法を習得する。
授業の到達目標及びテーマ
1　１年時に修得した身体の動かし方をより楽により効果的に行うために身近にあるアイテムを使って運動を習慣化する。 2　日常活動動作の偏った動かし方による痛みを軽減、解消する方法を習得する。 3　自己チャックシートをつけ、運動習慣を身に付ける。

授業計画	
４月	現在の身体の状態の把握。１年時と比較する。（体力測定、形態測定）
５月	正しい身体の動かし方①姿勢、意識、体感
６月	〃　　②①＋強度の上げ下げ（マイペースを知る）
７月	〃　　③①＋②＋呼吸法
９月	セルフコンディショニング（下肢）ペアストレッチ、筋トレ、＋おはら祭練習（連休明け～）
10月	一人でできる運動方法（各症状ごとに）＋おはら祭の練習
11月	〃　　＋効果的な脂肪燃焼法（呼吸）
12月	〃　　＋　〃　（ウォーキング）
１月	一人でできる運動をチームメイトとコミュニケーションを取りながら行う
２月	〃
３月	〃

授業外学習	
考査出題方針	
課題・提出物	
評価の観点	①意欲・関心 ②表現・技能　③知識・理解　④態度 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	実技、ペーパーテストによる理論、体力測定にて評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修
秘書学Ⅰ	3	キャリア養成学科２年コース	１年	必修

担当教員	職名　　非常勤講師　　氏名　　永倉　奈々
教科に係る 実務経験等	客室乗務員歴７年(国内線、国際線) 中学・高校一種教員免許状(英語)
使用教材	この一冊で決める!!秘書検定準１級・２級合格教本
副教材等	「秘書検定２級実問題集」「秘書検定ケーススタディで学ぶ集中講義２級」「ユーキャン秘書検定テキスト１．２」

講義の概要
社会人としての基礎教養としての知識を定着させる。 授業は、講義と演習を組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
１．秘書検定２級の資格取得を目指す。 ２．社会人としての「知性」「品性」「人間性」を身に付ける。

授業計画	
４月	秘書検定について　模擬練習問題
５月	秘書の資質
６月	職務知識
７月	日常業務・非日常業務
９月	前期のまとめ
１０月	接遇・敬語
１１月	来客応対の基本
１２月	電話応対の基本
１月	慶弔業務
２月	文書・企業に関する知識
３月	まとめ

授業外学習	復習となる実問題集、プリント等を課題とし、提出する。
考査出題方針	秘書検定２級の模擬問題に準ずる問題とする。
課題・提出物	課題の提出
評価の観点	①関心・意欲・態度　②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義後に行う振り返り、小テスト・各考査の成績、提出物の状況、学習参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
マナー・プロトコール	2	キャリア養成学科２年コース	２年	必修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　宅間　智子
教科に係る実務経験等	NTTにて実務１８年（内ﾏﾅｰ講座ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ４年），秘書技能検定1級
使用教材	マナー&プロトコールの基礎知識、 マナー・プロトコール検定２級・３級問題集
副教材等	仕事の常識基本テキスト(キャリア総研)

講義の概要
社会人としての基礎教養としての知識を定着させる。 授業は、講義と演習を組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
1. 秘書に関連する業務を学ぶことを通じて会社や団体の組織や運営について知り、社会人としてのマナーを身に付ける。 2. 「秘書検定準１級・２級」「マナー・プロトコール検定２級・３級」の資格を取得し、実務に活かせる技術会得を目指す。

授業計画	
４月	１年次の復習、社会人に必要なマナー
５月	ビジネスシーンのマナー
６月	働くために知っておくこと
７月	「婚」のしきたり
９月	「葬」のしきたり
10月	「冠」のしきたり
11月	国際人としてのプロトコール
12月	「祭」のしきたり
１月	食事のマナー
２月	お酒のマナー
３月	まとめ

授業外学習	レポートを提出する。
考査出題方針	秘書検定2級の模擬問題に準ずる問題とする。
課題・提出物	夏期課題及びレポート等
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義後に行う振り返り、講義中に不定期に課すレポート及び小テスト、 各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
秘書学	3	キャリア養成学科 1年コース	1年	必修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　宅間　智子
教科に係る実務経験等	NTTにて実務１８年（内ﾏﾅｰ講座ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ４年），秘書技能検定1級
使用教材	この1冊で決める!!秘書検定準1級･2級合格教本（新星出版社）
副教材等	アシスタントウエディングプランナーテキスト

講義の概要
社会人としての基礎教養としての知識を定着させる。 授業は、講義と演習を組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
1.秘書に関連する業務を学ぶことを通じて会社や団体の組織や運営について知り、社会人としてのマナーを身に付ける。 2. 「サービス接遇検定２級．準１級」「秘書検定２級」の資格を取得し、実務に活かせる技術会得を目指す。

授業計画	
４月	敬語について
５月	来客応対の基本
６月	電話応対の基本
７月	訪問のマナーについて
９月	前期のまとめ
10月	文書の基礎知識
11月	日常業務･非日常業務について
12月	報連相について
１月	企業に関する知識について
２月	マーケティングについて
３月	まとめ

授業外学習	復習となる実問題集を課題とし、ノート提出する。
考査出題方針	サービス接遇検定2級、秘書検定2級の模擬問題に準ずる問題とする。
課題・提出物	課題のノート提出
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義後に行う振り返り、講義中に不定期に課すレポート及び小テスト、各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
秘書学	1	キャリア養成学科 2年コース	1年	必修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　宅間　智子
教科に係る実務経験等	NTTにて実務１８年（内ﾏﾅｰ講座ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ４年），秘書技能検定1級
使用教材	この1冊で決める!!秘書検定準1級･2級合格教本（新星出版社）
副教材等	アシスタントウエディングプランナーテキスト

講義の概要
社会人としての基礎教養としての知識を定着させる。 授業は、講義と演習を組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
1.秘書に関連する業務を学ぶことを通じて会社や団体の組織や運営について知り、社会人としてのマナーを身に付ける。 2. 「サービス接遇検定２級．準１級」「秘書検定２級」の資格を取得し、実務に活かせる技術会得を目指す。

授業計画	
４月	敬語について
５月	来客応対の基本、電話応対の基本
６月	贈答のマナー、問題演習
７月	ブライダルについて
９月	前期のまとめ
10月	
11月	
12月	
１月	
２月	
３月	

授業外学習	復習となる実問題集を課題とし、ノート提出する。
考査出題方針	サービス接遇検定2級の模擬問題に準ずる問題とする。
課題・提出物	課題のノート提出
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義後に行う振り返り、講義中に不定期に課すレポート及び小テスト、各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
ホスピタリティサービス実務	3	キャリア養成学科 1年コース	1年	必修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　宅間　智子
教科に係る実務経験等	NTTにて実務１８年（内ﾏﾅｰ講座ｲﾝｽﾄﾗｸﾀｰ４年）
使用教材	必要に応じてプリントを配布
副教材等	

講義の概要
コミュニケーション力を高め自己表現力を付け、実践的な実務能力を身につける。
授業の到達目標及びテーマ
立ち居振る舞いや丁寧な言葉遣いを身につける。 社会生活に即応し、企業に求められる人材の育成を目指す。

授業計画	
４月	自己紹介・自己PRについて
５月	履歴書について，面接について
６月	グループディスカッションについて
７月	面接演習、グループディスカッション演習
９月	前期のまとめ
10月	キャリアデザイン
11月	文書作成について
12月	日本の文化について
１月	実行力・課題発見力について
２月	計画力･創造力・傾聴力について
３月	まとめ

授業外学習	面接演習
考査出題方針	模擬面接とする
課題・提出物	夏期課題及び発表
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	自己分析および自己表現ができているかを模擬面接で判断する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
ホスピタリティサービス実務Ⅰ	3	キャリア養成学科 ２年コース	１年	必修

担当教員	職名　専任講師　氏名　石田　佳美 職名　講師　氏名　上野　悠希 職名　講師　氏名　福田　悠來
教科に係る実務経験等	客室乗務員歴11年（国内線・国際線） 列車客室乗務員歴8年 客室乗務員歴1年
使用教材	必要に応じてプリントを配布
副教材等	

講義の概要
コミュニケーション力を高め自己表現力を付け、実践的な実務能力を身につける。
授業の到達目標及びテーマ
立ち居振る舞いや丁寧な言葉遣いを身につける。 社会生活に即応し、企業に求められる人材の育成を目指す。

授業計画	
４月	自己紹介、自己PRについて
５月	履歴書について、面接について
６月	グループディスカッションについて
７月	面接演習、事例研究
９月	前期のまとめ
10月	キャリアデザイン
11月	作文、小論文
12月	PDSA
１月	面接演習
２月	グループディスカッション演習
３月	まとめ

授業外学習	面接演習
考査出題方針	模擬面接とする
課題・提出物	夏期課題及び発表
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	自己分析および自己表現ができているかを模擬面接で判断する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
ホスピタリティサービス実務Ⅱ	4	キャリア養成学科 ２年コース	2年	必修

担当教員	職名　　専任講師　　氏名　石田　佳美 職名　　講師　　氏名　上野　悠希
教科に係る実務経験等	客室乗務員歴11年（国内線・国際線） 列車客室乗務員歴8年
使用教材	必要に応じてプリントを配布
副教材等	

講義の概要
コミュニケーション力を高め自己表現力を付け、実践的な実務能力を身につける。
授業の到達目標及びテーマ
立ち居振る舞いや丁寧な言葉遣いを身につける。 社会生活に即応し、企業に求められる人材の育成を目指す。

授業計画	
４月	１年次の復習
５月	履歴書の推敲
６月	面接実践
７月	面接・グループディスカッション・スピーチの演習
９月	前期のまとめ
10月	実行力・課題発見力について
11月	計画力･創造力・傾聴力について
12月	ストレス回避について
１月	事例共有
２月	ライフラインチャート
３月	まとめ

授業外学習	面接演習
考査出題方針	模擬面接とする
課題・提出物	夏期課題及び発表
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	自己分析および自己表現ができているかを模擬面接で判断する。
評価について	別途指示

科目名	単位数	コース	学年	履修について
時事社会	2	キャリア養成学科　１年コース	１年	必修

担当教員	職名　参与　　氏名　黒木加代子
教科に係る実務経験等	公立高等学校教員等 38年
使用教材	月刊『新聞ダイジェスト』（新聞ダイジェスト社） 『最新最速　時事問題の教科書』(ＴＡＣ出版)ほか
副教材等	教員作成プリント、新聞、雑誌、インターネット

講義の概要
社会人としての教養として、基礎的な知識を定着させる。 授業は、配付資料に基づく講義と、演習を組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
１　最新の時事ニュースについての理解を深める。 ２　政治、経済、歴史、文化等の全世界的な現状と、現代日本の課題について思考を深める。 ３　課題意識を深めるとともに、それぞれの事項について議論ができるようになる。

授業計画	
４月	働くことの意義、社会の動向について概論的に把握する。
５月	最新の国内、海外情勢について理解を深める。
６月	歴史、文化、エネルギーについて項目毎の理解を深める。
７月	各分野について、調べ学習や演習を行う。
９月	前期末試験の実施。地域の課題等について理解を深める。
10月	自然科学分野についての課題について認識を深め、理解を深める。
11月	世界と日本の関係性について理解を深める。
12月	安全保障、国際関係についての理解を深める。
１月	歴史的側面から、現代社会の課題を認識する。
２月	学年末試験の実施。
３月	各個人の課題学習に取り組む。

授業外学習	復習として、授業での講義内容や実施したグループワーク等の省察を行い、レポートを提出する。
考査出題方針	授業での講義内容を中心に、指定された課題からも出題する。
課題・提出物	長期休業（夏季・冬季）中の課題・レポート
評価の観点	①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解、の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義後に行う振り返り、講義中に不定期に課すレポート及び小テスト、各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。

科目名	単位数	コース	学年	履修について
時事社会Ⅰ	2	キャリア養成学科　2年コース	1年	必修

担当教員	職名　参与　　氏名　黒木加代子
教科に係る実務経験等	公立高等学校教員等 38年
使用教材	月刊『新聞ダイジェスト』（新聞ダイジェスト社） 『最新最速　時事問題の教科書』(ＴＡＣ出版)ほか
副教材等	教員作成プリント、新聞、雑誌、インターネット

講義の概要
社会人としての教養として、基礎的な知識を定着させる。 授業は、配付資料に基づく講義と、演習を組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
1　最新の時事ニュースについての理解を深める。 2　政治、経済、歴史、文化等の全世界的な現状と、現代日本の課題について思考を深める。 3　課題意識を深めるとともに、それぞれの事項について議論ができるようになる。

授業計画	
4月	働くことの意義、社会の動向について概論的に把握する。
5月	最新の国内、海外情勢について理解を深める。
6月	歴史、文化、エネルギーについて項目毎の理解を深める。
7月	各分野について、調べ学習や演習を行う。
9月	前期末試験の実施。地域の課題等について理解を深める。
10月	自然科学分野についての課題について認識を深め、理解を深める。
11月	世界と日本の関係性について理解を深める。
12月	安全保障、国際関係についての理解を深める。
1月	歴史的側面から、現代社会の課題を認識する。
2月	学年末試験の実施。
3月	各個人の課題学習に取り組む。

授業外学習	復習として、授業での講義内容や実施したグループワーク等の省察を行い、レポートを提出する。
考査出題方針	授業での講義内容を中心に、指定された課題からも出題する。
課題・提出物	長期休業（夏季・冬季）中の課題・レポート
評価の観点	①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解、の4観点を総合的に評価する。
評価方法	講義後に行う振り返り、講義中に不定期に課すレポート及び小テスト、各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。

科目名	単位数	コース	学年	履修について
時事社会Ⅱ	2	キャリア養成学科　２年コース	２年	必修

担当教員	職名　参与　　氏名　黒木加代子
教科に係る実務経験等	公立高等学校教員等 38年
使用教材	月刊『新聞ダイジェスト』（新聞ダイジェスト社） 『最新最速　時事問題の教科書』(ＴＡＣ出版)ほか
副教材等	教員作成プリント、新聞、雑誌、インターネット

講義の概要
社会人としての基礎教養としての知識を定着させるとともに、実践力につなげる。 授業は、配付資料に基づく講義と、演習を組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
１　最新の時事ニュースについての理解を深めるとともに、グローバルな視点を培う。 ２　政治、経済、歴史、文化等の全世界的な現状と、現代日本の課題について思考を深める。 ３　課題意識を深めるとともに、それぞれの事項について議論ができるようになる。

授業計画	
４月	働くことの意義、社会の動向について概論的に把握する。
５月	最新の国内、海外情勢について理解を深める。
６月	歴史、文化、エネルギーについて項目毎の理解を深める。
７月	各分野について、調べ学習や演習を行う。
９月	前期末試験の実施。地域の課題等について理解を深める。
10月	自然科学分野についての課題について認識を深め、理解を深める。
11月	世界と日本の関係性について理解を深める。
12月	安全保障、国際関係についての理解を深める。
１月	歴史的側面から、現代社会の課題を認識する。
２月	学年末試験の実施。
３月	各個人の課題学習に取り組む。

授業外学習	復習として、授業での講義内容や実施したグループワーク等の省察を行い、レポートを提出する。
考査出題方針	授業での講義内容を中心に、指定された課題からも出題する。
課題・提出物	長期休業（夏季・冬季）中の課題・レポート
評価の観点	①関心・意欲・態度、②思考・判断・表現、③技能、④知識・理解、の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義後に行う振り返り、講義中に不定期に課すレポート及び小テスト、各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
ＳＰＩ	４	キャリア養成学科 １年コース	１年	必修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　原永　由貴
教科に係る実務経験等	教員免許（中・高、英語）
使用教材	SPI対策問題集、一般常識Drill
副教材等	

講義の概要
１　社会人としての基礎教養を定着させる。 ２　就職試験の筆記試験対策を行う。
授業の到達目標及びテーマ
１　国語分野（漢字の読み書き・対義語類義語・表現補充・文章理解） ２　社会分野（日本地理・世界地理・政治・経済・日本国憲法・日本史・世界史） ３　数学分野（基礎計算・SPIなど）

授業計画	
４月	方程式・パーセント／日本地理／二語関係
５月	比・割合・２けたの整数・損益算／世界地理／対義語類義語
６月	料金計算・順列・組み合わせ・確率・発車時刻／日本国憲法
７月	鶴亀算・平均
９月	時間範囲・年齢算／日本史／文章理解
10月	推論・速さ／世界史
11月	仕事算・図表読み取り・仕事算・分割払い
12月	玉手箱
１月	政治・経済・表現補充
２月	濃度算・集合・図形
３月	総合演習

授業外学習	毎時間漢字の小テストを行う。
考査出題方針	授業で使用した教材を中心に、指定された課題からも出題する。
課題・提出物	課題及びワーク提出
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	毎時間の漢字小テスト、毎時間の課題及び復習小テスト 各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
ＳＰＩⅡ	４	キャリア養成学科 ２年コース	２年	必修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　原永　由貴
教科に係る実務経験等	教員免許（中・高、英語）
使用教材	SPI基礎からはじめる問題集、一般常識Drill
副教材等	独自作成プリント

講義の概要
１　社会人としての基礎教養を定着させる。 ２　就職試験の筆記試験対策を行う。
授業の到達目標及びテーマ
１　国語分野（漢字の読み書き・対義語類義語・表現補充・文章理解） ２　社会分野（日本地理・世界地理・政治・経済・日本国憲法・日本史・世界史） ３　数学分野（基礎計算・SPIなど）

授業計画	
４月	玉手箱／損益算・料金の割引
５月	分割払い・代金の清算／二語関係・対義語類義語
６月	組み合わせ・確率／熟語
７月	資料の読みとり
９月	推論・仕事算
10月	集計表／地理・日本国憲法
11月	速さ・図形／政治・経済
12月	日本史・世界史
１月	一般常識
２月	総合演習
３月	総合演習

授業外学習	毎時間漢字の小テストを行う。
考査出題方針	授業で使用した教材を中心に、指定された課題からも出題する。
課題・提出物	課題及びワーク提出
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	毎時間の漢字小テスト、毎時間の課題及び復習小テスト 各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

目　名	単位数	コース	学年	履修について
ＳＰＩＩ	２	キャリア養成学科 ２年コース	１年	必修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　原永　由貴
教科に係る実務経験等	教員免許（中・高、英語）
使用教材	SPI対策問題集
副教材等	

講義の概要
１　社会人としての基礎教養を定着させる。 ２　就職試験の筆記試験対策を行う。
授業の到達目標及びテーマ
1　国語分野（漢字の読み書き・対義語類義語・表現補充・文章理解） 2　数学分野（基礎計算・SPIなど）

授業計画	
４月	方程式・パーセント・比・割合
５月	２けたの整数・料金計算・損益算
６月	速さ・順列・組み合わせ／対義語類義語
７月	確率・発車時刻・平均
９月	前期復習
10月	推論・時間の範囲
11月	年齢算・濃度算／表現補充
12月	仕事算・水槽算／文章理解
１月	鶴亀算・集合／二語関係
２月	玉手箱
３月	総合演習

授業外学習	毎時間漢字の小テストを行う。
考査出題方針	授業で使用した教材を中心に、指定された課題からも出題する。
課題・提出物	課題及びワーク提出
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	毎時間の漢字小テスト、毎時間の課題及び復習小テスト 各考査の成績、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

英語シラバスについて

科目名	単位数	コース	学年	履修について
英語	2	キャリア養成2年コース	1年	必履修

担当教員	職名　非常勤講師　氏名　荒田　明子
教科に関わる実務経験等	30年
使用教材	「Elixir 2」
副教材	英検準2級でる順パス単　英検過去問

講義の概要
英語の基礎から見直し、読む・書く・聞く・話す英語の力を伸ばせるよう指導する。語(句)・文法事項の確認、読解、複数のアプローチによる音読、既習事項のアウトプットを軸に、個々の英語学習を支援する。
授業の到達目標及びテーマ
コミュニケーション手段として、生涯にわたって英語を積極的に活用したいという意欲を喚起する。

授業計画	
4月	オリエンテーション(授業説明)　Unit1
5月	Unit1～Unit3
6月	Unit3～Unit6
7月	Unit6　復習テスト
9月	前期末試験/ Unit7～Unit9
10月	Unit9～Unit11
11月	Unit11～Unit13
12月	Unit13～Unit15
1月	復習テスト
2月	学年末試験/ 英検過去問　/ Toeic問題
3月	英検過去問　/ Toeic問題

授業外学習	単語・熟語テスト勉強　/　授業の予習　/　適宜宿題
考査出題方針	使用教材より
課題・提出物	単語・熟語小テスト含む授業のレジメと英作文課題
評価の観点	①知識・技能　②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度 の3観点を総合的に評価する。
評価方法	定期試験結果・毎授業の単語・熟語小テスト・出席率・授業態度より総合的 に評価する。

科　目　名	単位数	コース	学年	履修
英語Ⅰ	4	キャリア養成学科２年コース	１年	必修

担当教員	職名　　非常勤講師　　氏名　　永倉　奈々
教科に係る 実務経験等	客室乗務員歴７年(国内線・国際線) 中学・高校一種教員免許状(英語)
使用教材	「英語総合問題集 Elixir」「英検準２級でる順パス単」
副教材等	「英検準２級過去問題集」「ゼロからスタート 英文法」

講義の概要
英語の基礎から見直し、積極的に英語に親しむ。
授業の到達目標及びテーマ
１．英語の単語力・読解力強化を図る。 ２．英検合格を目指す。 ３．実用英語にも触れ、身近な会話文などを作成することで社会で活用したいという意欲を高める。

授業計画	
４月	オリエンテーション、英検過去問、Unit1
５月	単語テスト、Unit1～Unit3
６月	単語テスト、Unit3～Unit6
７月	Unit6、復習、英作文練習
９月	前期末試験、Unit7～Unit9
１０月	単語テスト、Unit9～Unit11
１１月	単語テスト、Unit11～Unit13
１２月	単語テスト、Unit13～Unit15
１月	単語テスト、復習、英作文練習
２月	学年末テスト
３月	単語テスト、英検過去問

授業外学習	休み期間課題、小テスト復習、英検問題
考査出題方針	課題の提出
課題・提出物	小テスト・定期試験結果、出席率、授業態度により総合的に評価する。
評価の観点	①関心・意欲・態度　②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義後に行う振り返り、レポート及び小テスト、各考査の成績、提出物の状況、学習参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

英語シラバスについて

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
英　語	2	キャリア養成１年コース	1年	必履修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　石田　佳美
教科に係る実務経験等	客室乗務員歴11年（国内線・国際線）
使用教材	「Elixir 2」「ゼロからスタート英文法」
副教材等	「英検準2級でる順パス単」

講義の概要
英語の基礎から見直し、読む・書く・聞く・話す英語ができるよう指導する。 特に文法の苦手意識を払拭し、積極的に取り組めるよう支援する。
授業の到達目標及びテーマ
１．クラス全体で英検準２級以上を目指す。 ２．接客用英会話など実用英語にも馴染ませ、接客・サービス業界で活用したいという意欲を喚起する。

授業計画	
４月	オリエンテーション（授業説明・レベルテスト）、Unit1（英語の語順）
５月	第１回英検対策、Unit2～Unit3（文の種類・時制）、単語テスト
６月	第１回英検対策、Unit4～Unit5（完了形）、単語テスト
７月	第１回英検対策、Unit6(助動詞）、単語テスト
９月	前期末試験／夏休み課題 解答／Unit7（受動態）、単語テスト
10月	第２回英検対策、Unit8～Unit9（不定詞）、単語テスト
11月	第２回英検対策、Unit10～Unit11（動名詞・分詞）、単語テスト
12月	Unit12（関係代名詞）、単語テスト
１月	第３回英検対策、冬休み課題 解答、Unit13～Unit14（比較）、単語テスト
２月	第３回英検対策、 前期末試験、Unit15（仮定法の基本）、単語テスト
３月	まとめ

授業外学習	英検前放課後補講 夏休み・冬休み課題（ワークのまとめを使用し予習復習に充てる）
考査出題方針	テキスト・ワーク・英検過去問より
課題・提出物	授業前の予習・ワークの提出
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解の４観点を総合的に評価する。
評価方法	毎授業の単語テスト・小テスト・定期試験結果・出席率・授業態度より総合的に評価する。
評価について	別途指示

英語シラバスについて

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
英　語　Ⅱ	3	キャリア養成２年コース	２年	必履修

担当教員	職名　専任講師　　氏名　石田　佳美
教科に係る実務経験等	客室乗務員歴11年（国内線・国際線）
使用教材	「Elixir3」
副教材等	「英検準2級でる順パス単」「ゼロからスタート英文法」

講義の概要
英語の基礎力を高めるとともに、読む･書く･聞く･話す英語の力を伸ばせるよう指導する。語（句）・文法事項の確認、読解、複数のアプローチによる音読、既習事項のアウトプットを軸に、個々の英語学習を支援する。
授業の到達目標及びテーマ
１．英検受検希望者を増やし、２級程度を目指す。 ２．コミュニケーション手段として、生涯にわたって英語を積極的に活用したいという意欲を喚起する。

授業計画	
４月	オリエンテーション（授業説明）、Unit1（時制）
５月	Unit1~Unit2（時制･完了形）／単語テスト
６月	Unit3~Unit4（助動詞・受動態）／単語テスト
７月	Unit5~Unit6（不定詞①・不定詞②）／夏休み課題／単語テスト
９月	前期末試験／Unit1-6 復習／単語テスト
10月	Unit7~Unit8（動名詞と不定詞･分詞①）／単語テスト
11月	Unit9~Unit10（分詞②・関係詞①）／単語テスト
12月	Unit11~Unit12（関係詞②・比較①）／単語テスト／冬休み課題
１月	Unit13~Unit14（比較②･仮定法①）／単語テスト
２月	Unit7~Unit14 復習／単語テスト／学年末試験
３月	Unit15（仮定法②）／単語テスト

授業外学習	単語･熟語テスト勉強／授業の予習・自宅課題 英検前放課後補講
考査出題方針	使用教材より
課題・提出物	Elixir提出用ノート／単語･熟語小テスト
評価の観点	①知識・技能 ②思考・判断・表現　③主体的に学習に取り組む態度の３観点を総合的に評価する。
評価方法	定期試験結果・毎授業の単語･熟語小テスト・出席率・授業態度より総合的に評価する。

About Syllabus

Name of the subject	Credit	Course (CT)	Grade	Compulsory Subject/not
EnglishConversation I	2	2-year Course	1st year	Compulsory

Teaching Staff	Title: Part-time Lecturer Name: Joseph Williams
Length of Teaching Experiences	3 years
Teaching Material(s)	Textbook: Four Corners 2nd ed level1 SB
Subsidery Teaching Material(s)	Copies; Worksheets; Games

The Brief Outline of your Lessons
The study of English using real like working situations + scenarios using workplace Vocabulary + situations to help students prepare for working life + communication
The Theme and the Goal(s) of your Lessons
To improve the following: coherency, fluency, pronunciation, confidence, vocabulary usage, Listening, reading, reaction time. To prepare students' for the workplace and to ebable students to become versatile team members when needed.

Allotment of Your Lessons	
April	Introducing friends + family, interviewing, requesting
May	Nationalities; Number usage
June	Describing pictures, shopping, taking messages
July	Modes of transportation; Giving directions
September	Scheduling; Routines
October	Computer Vocabulary; Online activities
November	Buying, Selling, Market places, shopping
December	Foods, Culture, Flowers.
January	Job Abilities
February	Study and work
March	On-the-Job conversations

Assignment	
Testing Guideline	Grammer; Reading; Writing
Homework, etc.	Encouraging speaking, shadowing, repeating speed, speaking fluency, vocabulary expressions, idioms.
Aspects of Evaluation	Interviewing; CD taskes; testing Vocabulary checking/tasks
Ways of Evaluation	Through testing, attendance and written tests/ evaluations, Participation in Class, Attitude, efforts
Some More Info about Evaluation	Nothing in particular.

About Syllabus

Name of the subject	Credit	Course (CT)	Grade	Compulsory Subject/not
English Conversation	2	1-yearCourse	1st year	Compulsory

Teaching Staff	Title: Part-time Lecturer Name: Joseph Williams
Length of Teaching Experiences	3 years
Teaching Material(s)	Textbook: Four Corners 2nd ed level1 SB
Subsidery Teaching Material(s)	Internet; Worksheets; Games

The Brief Outline of your Lessons
Stage Ⅰ: Vocabulary expression-practices;Identifying+pronouncing a variety of Situations Stage Ⅱ: Reading specific sentences, Wh-Q&A examples StageⅢ: Listening to and completing examples of conversation, improving situational awareness creating + practicing original content, customization of materials
The Theme and the Goal(s) of your Lessons
To improve the following: Industry specific vocabulary + pronunciation. To contextualize sentences and their structures, customized sentence structures. To enable students to be able to use industry specific vocabulary

Allotment of Your Lessons	
April	"Be" verbs; Possessive adjectives
May	Subject pronouns; Yes / No with "Be"
June	Plural subjects; Who / How
July	Demonstratives; A / AN; Possessive pronouns
September	Simple present form; Yes / No questions
October	Adverbs of frequency
November	Who questions with "Do"
December	Simple present Who questions
January	Can; "And", "But", "Or"
February	Communication; Job abilities
March	Describing personal experiences in detail.

Assignment	
Testing Guideline	Grammer; Reading; Writing
Homework, etc.	Nil
Aspects of Evaluation	Listening to natural speech at spead. Reading; to understand meaning and use
Ways of Evaluation	Testing biannual activities. Repitition tasks. Group + individual methods.
Some More Info about Evaluation	Nothing in particular.

About Syllabus

Name of the subject	Credit	Course (CT)	Grade	Compulsory Subject/not
EnglishConversation II	2	2-year Course	2nd year	Compulsory

Teaching Staff	Title: Part-time Lecturer Name: Joseph Williams
Length of Teaching Experiences	3 years
Teaching Material(s)	CD; Textbook: Four Corners 2nd ed level1 SB
Subsidery Teaching Material(s)	Activities, Games, Props Copies

The Brief Outline of your Lessons
①Introductions: recent news topic expressions ②Building Vocabulary ③pronunciation revision practice ④Listning (Audio) 3 stages Reading and Listning practice tasks. Indivisual expression tasks.
The Theme and the Goal(s) of your Lessons
To promote, practice + improve confidence through role playing & vocabulary expansion on skills of students. The primary objective is to contextualizes English vocabulary through Oral Communication + Listning exercises.

Allotment of Your Lessons	
April	Do you have ?
May	Likes and dislikes; Meals; How often
June	Describing your workplace; industry; about Job
July	Describing your workplace duties;
September	There is / There are; Discribe actions
October	Actio-processes; step identificationR
November	Using telephone; Sending emails
December	Asking questions with -ing form; Online communication
January	Native-speaker style communication
February	Past tense questions
March	Budgeting; describing your workplace, meetings

Assignment	
Testing Guideline	Grammer; Reading; Writing
Homework, etc.	Use of vocabulary, fluency of speech, altitude + confidence
Aspects of Evaluation	Interviewing; CD taskes; testing Vocabulary checking/tasks
Ways of Evaluation	Bianual testing Individual + Group task practice
Some More Info about Evaluation	Nothing in particular.

About Syllabus

Name of the subject	Credit	Course (CT/HA)	Grade	Compulsory Subject/not
English Conversation	2	1-year Course	1st year	Compulsory

Teaching Staff	Title: Part-time Lecturer Name Wayne d'Eon
Length of Teaching Experiences	36 years
Teaching Material(s)	Textbook: English Firsthand
Subsidery Teaching Material	Workbook, Handouts and News

The Brief Outline of your Lessons
A combination of textbook, handouts, exercises, and speaking activities to improve ability to communicate in English.
The Theme and the Goal(s) of your Lessons
To be able to deepen understanding about local, national and world issues, and discuss them in basic English. To be able to discuss everyday life and communicate in English.

Allotment of Your Lessons	
April	Introductions, Simple present tense
May	Fashion, Adjective Order, Styles, Patterns, Material
June	Health, Imperatives, Advice
July	Directions, Prepositions of Location
September	Materials and Objects, How it's made, Singular/Plural.
October	Future Dreams, Review, Predictions / Plans
November	Past Experiences, Simple Past Tense
December	Comparisons and Common Sense, Comparative/Superlative
January	Things We Can and Can't Do, Abilities
February	Things We Like To Do, Gerunds, Infinitives
March	Telling Stories, Review, Past Tense Review

Assignment	
Testing Guideline	Twice yearly tests.
Homework, etc.	Workbook
Aspects of Evaluation	Attendance, Participation, Motivation, Knowledge
Ways of Evaluation	Through testing, Attendance and Participation in Class
Some More Info about Evaluation	Separate Instruction

About Syllabus

Name of the subject	Credit	Course (CT/HA)	Grade	Compulsory Subject/not
EnglishConversation I	2	2-year Course	1st year	Compulsory

Teaching Staff	Title: Part-time Lecturer Name Wayne d'Eon
Length of Teaching Experiences	36 years
Teaching Material(s)	Textbook: English Firsthand
Subsidery Teaching Material	Workbook, Handouts, News

The Brief Outline of your Lessons
A combination of textbook, handouts, exercises, and speaking activities to improve ability to communicate in English.
The Theme and the Goal(s) of your Lessons
To be able to communicate in English and discuss everyday life. To be able to deepen understanding of local, national, and world issues and discuss them in basic English.

Allotment of Your Lessons	
April	Introductions, Personal Information
May	Giving Instructions, Imperatives and Orders
June	Prepositions of place, There is/are.
July	Time, Schedules, Things we do, Questions
September	Family, Personality, Likes/Dislikes
October	Fashion, Materials, Patterns, Plural Forms, Review
November	Free Time Activities, Frequency Adverbs.
December	Food, Count and Non-count Nouns.
January	Sport and Exercise, Present Continuous.
February	Places and Items in the home, Prepositions of Location, Review
March	Past Activities, Simple Past, Tense, Goals and Dreams

Assignment	
Testing Guideline	Twice yearly tests.
Homework, etc.	Workbook
Aspects of Evaluation	Attendance, Participation, Motivation, Knowledge
Ways of Evaluation	Through testing, Attendance and Participation in Class
Some More Info about Evaluation	

About Syllabus

Name of the subject	Credit	Course (CT/HA)	Grade	Compulsory Subject/not
EnglishConversation Ⅱ	2	2-year Course	2nd year	Compulsory

Teaching Staff	Title: Part-time Lecturer Name Wayne d'Eon
Length of Teaching Experiences	36 years
Teaching Material(s)	Textbook: English Firsthand
Subsidery Teaching Material	Workbook, Handouts and News

The Brief Outline of your Lessons
A combination of textbook, handouts, exercises, and speaking activities to improve ability to communicate in English.
The Theme and the Goal(s) of your Lessons
To be able to communicate in English and discuss everyday life. To be able to deepen understanding of local, national, and world issues and discuss them in basic English.

Allotment of Your Lessons	
April	Introductions, Simple present tense
May	Fashion, Adjective Order, Styles, Patterns, Material
June	Health, Imperatives, Advice
July	Directions, Prepositions of Location
September	Materials and Objects, How it's made, Singular/Plural.
October	Future Dreams, Review, Predictions / Plans
November	Past Experiences, Simple Pst Tense
December	Comparisons and Common Sense, Comparative/Superlative
January	Things We Can and Can't Do, Abilities
February	Things We Like To Do, Gerunds, Infinitives
March	Telling Stories, Review, Past Tense Review

Assignment	
Testing Guideline	Twice a year tests.
Homework, etc.	Workbook
Aspects of Evaluation	Attendance, Participation, Motivation, Knowledge
Ways of Evaluation	Through testing, Attendance and Participation in Class
Some More Info about Evaluation	Separate Instruction

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
中国語	２	キャリア養成１年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　李　淑双
教科に係る実務経験等	中国語講師歴２０年以上
使用教材	英中韓３カ国基本接客フレーズ
副教材等	ＤＶＤ

講義の概要
社会人としての養成される中国語の基本を学ぶ。
授業の到達目標及びテーマ
ネイティブに対して通じる中国語・使える中国語の基本を身に付けることを目指す。

授業計画	
４月	中国語による自己紹介（自分の名前の中国語発音）
５月	中国の世界遺産などの名勝地の発音
６月	鹿児島の観光地などの中国語発音
７月	服務・サービス用語①（接客、注文）
９月	中間試験
10月	服務・サービス用語②（予約）
11月	服務・サービス用語③（価格交渉）
12月	鹿児島の市町村名や有名な観光地・施設・建築物等の名前に関する中国語の発音
１月	中華圏の文化と日本・鹿児島との比較
２月	口頭発表・学年末試験
３月	ＤＶＤによる中国の歴史及び文化の紹介

授業外学習	復習として、簡単な単語と表現の練習・レポートの提出。
考査出題方針	授業で修得した表現方法や対処方法など基本的事項を出題する。
課題・提出物	レポート提出を適宜課す。
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	授業ごとの参加姿勢、課題レポートの成績内容
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
中国語Ⅰ	2	キャリア養成２年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　李　淑双
教科に係る実務経験等	中国語講師歴２０年以上
使用教材	英中韓３カ国基本接客フレーズ
副教材等	ＤＶＤ

講義の概要
社会人としての養成される中国語の基本を学ぶ。
授業の到達目標及びテーマ
ネイティブに対して通じる中国語・使える中国語の基本を身に付けることを目指す。

授業計画	
４月	中国語による自己紹介（自分の名前の中国語発音）
５月	中国の世界遺産などの名勝地の発音
６月	鹿児島の観光地などの中国語発音
７月	服務・サービス用語①（接客、注文）
９月	中間試験
10月	服務・サービス用語②（予約）
11月	服務・サービス用語③（価格交渉）
12月	鹿児島の市町村名や有名な観光地・施設・建築物等の名前に関する中国語の発音
１月	中華圏の文化と日本・鹿児島との比較
２月	口頭発表・学年末試験
３月	ＤＶＤによる中国の歴史及び文化の紹介

授業外学習	復習として、簡単な単語と表現の練習・レポートの提出。
考査出題方針	授業で修得した表現方法や対処方法など基本的事項を出題する。
課題・提出物	レポート提出を適宜課す。
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	授業ごとの参加姿勢、課題レポートの成績内容
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
中国語Ⅱ	2	キャリア養成２年コース	２年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　李　淑双
教科に係る実務経験等	中国語講師歴２０年以上
使用教材	英中韓３カ国基本接客フレーズ
副教材等	ＤＶＤ

講義の概要
職業人としての養成される中国語の基本を学ぶ。
授業の到達目標及びテーマ
ネイティブに対して通じる中国語・使える中国語の基本を身に付けることを目指す。

授業計画	
４月	自分の名前の中国語発音の復習など
５月	服務・サービス用語の復習と新しい言葉の学習
６月	鹿児島の観光地などの中国語復習と新しい言葉の学習
７月	服務・サービス用語①（接客、注文、地震などの災害対応）
９月	中間試験
10月	服務・サービス用語②（予約、両替などのやり方）
11月	服務・サービス用語③（価格交渉方法、訂正、キャンセルなどの方法）
12月	鹿児島の市町村名や有名な観光地・特産品・建築物等の名前に関する中国語の発音
１月	中国・日本地名の中国語発音の練習
２月	口頭発表・学年末試験
３月	ＤＶＤによる中国の歴史及び文化の紹介、中国飲食茶会の実践的学習

授業外学習	復習として、簡単な単語と表現の練習。
考査出題方針	授業で修得した表現方法や対処方法など基本的事項を出題する。
課題・提出物	中国語の発表。
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	授業ごとの参加姿勢、課題レポートの成績内容 定期試験の結果を総合して評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術 （手話）	２	キャリア養成１年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　畑　加奈子
教科に係る実務経験等	手話の指導歴１２年
使用教材	やさしくわかるはじめての手話
副教材等	手話の接客サービス

講義の概要
手話を使って会話をすることができることを第一の目標にしますが、同時に障がいを持つ人たちが置かれる社会的立場、差別の構造、人権の問題について理解を深めることを目標とする。
授業の到達目標及びテーマ
１　手話の基本を学び手話での自己紹介や簡単な日常会話が可能になるようにすること。 ２　授業を通し人権について学び、サービスの基本理念ホスピタリティとノーマライゼーションを学ぶ。

授業計画	
４月	手話の簡単なあいさつ、自己紹介（聴覚障がいについて）
５月	指文字、家族表現、趣味表現、感情表現
６月	数字表現、値段、時刻などの単位、一日の表現
７月	接客に役立つ手話、総復習（身体障がい者手帳について）
９月	前期末試験の実施
10月	都道府県表現、単語カードを使って表現
11月	道案内、身振り表現での伝達（表情）
12月	乗り物表現、色の表現
１月	接客時の表現、店先での会話
２月	学年末試験の実施（学んだ手話で短文を作成して表現する）
３月	学年末のまとめ

授業外学習	復習として、授業で実施したエクササイズを反復練習すること。 次の授業にて小テストを行う。
考査出題方針	授業での講義内容を中心に、他課題からも出題する。
課題・提出物	１週間に最低2回は前期学習部分を見直しをすること。
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義中の授業態度、講義中の小テスト及び、レポート各考査の成績、により評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術Ⅰ （手話）	２	キャリア養成２年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　畑　加奈子
教科に係る実務経験等	手話の指導歴１２年
使用教材	やさしくわかるはじめての手話
副教材等	手話の接客サービス

講義の概要
手話を使って会話をすることができることを第一の目標にしますが、同時に障がいを持つ人たちが置かれる社会的立場、差別の構造、人権の問題について理解を深めることを目標とする。
授業の到達目標及びテーマ
1　手話の基本を学び手話での自己紹介や簡単な日常会話が可能になるようにすること。 2　授業を通し人権について学び、サービスの基本理念ホスピタリティとノーマライゼーションを学ぶ。

授業計画	
４月	手話の簡単なあいさつ、自己紹介（聴覚障がいについて）
５月	指文字、家族表現、趣味表現、感情表現
６月	数字表現、値段、時刻などの単位、一日の表現
７月	接客に役立つ手話、総復習
９月	前期末試験の実施
10月	都道府県表現、単語カードを使って表現
11月	道案内、職業の表現
12月	接客時の表現、店先での表現
１月	手話歌、反対語の手話表現
２月	学年末試験の実施（学んだ手話で短文を作成して表現する）
３月	学年末のまとめ

授業外学習	復習として、授業で実施したエクササイズを反復練習すること。 次の授業にて小テストを行う。
考査出題方針	授業での講義内容を中心に、他課題からも出題する。
課題・提出物	１週間に最低2回は前期学習部分を見直すこと。
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義中の授業態度、講義中の小テスト及び、レポート各考査の成績、により評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術Ⅱ （手話）	２	キャリア養成２年コース	２年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　畑　加奈子
教科に係る実務経験等	手話の指導歴１２年
使用教材	やさしくわかるはじめての手話
副教材等	手話の接客サービス

講義の概要
手話を使って会話をすることができることを第一の目標にしますが、同時に障がいを持つ人たちが置かれる社会的立場、差別の構造、人権の問題について理解を深めることを目標とする。
授業の到達目標及びテーマ
1　手話の基本を学び手話での自己紹介や簡単な日常会話が可能になるようにすること。 2　授業を通し人権について学び、サービスの基本理念ホスピタリティとノーマライゼーションを学ぶ。

授業計画	
４月	サービス用語、接客の手話表現（身体障がい者手帳について）
５月	基本的な手話、会話、色の表現
６月	単語カードを使って表現
７月	前期の復習
９月	前期末試験の実施（手話表現の読み取り）
10月	手話歌、感情表現
11月	日常会話にチャレンジ
12月	乗り物表現、道案内（緊急時、災害時）
１月	接客時の表現、店先での会話
２月	学年末試験の実施（学んだ手話で短文を作成して表現する）
３月	学年末のまとめ

授業外学習	復習として、授業で実施したエクササイズを反復練習すること。 次の授業にて小テストを行う。
考査出題方針	授業での講義内容を中心に、他課題からも出題する。
課題・提出物	１週間に最低2回は前期学習部分を見直しをすること。
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義中の授業態度、講義中の小テスト及び、レポート各考査の成績、により評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術 （メイク）	1	キャリア養成学科 1年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　間島　悠
教科に係る実務経験等	美容室勤務３年　化粧品会社３年　メイク講師７年
使用教材	必要に応じてプリントを配布
副教材等	

講義の概要
流行メイクではなく社会人に必要なキャリアメイクの知識及び技術を身につけさせる。 面接や履歴書に必要なメイク講義、実技のﾃﾞﾓﾝｽﾄﾚｰｼｮﾝを組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
社会人に必要なヘアアレンジとメイクの知識や技術を身に付ける。

授業計画	
４月	メイクアップの基礎知識について理解を深める。（化粧の心理効果、技術者の身だしなみ）
５月	面接や履歴書用写真に必要なキャリアメイクの知識や技術を把握する。
６月	スキンケア、ベースメイクの知識と技術を把握する。（手順、施術方法、反復練習）
７月	フルメイクの技術を習得する（手順、施術方法）
９月	フルメイク、ヘアセットの技術を身につける。（反復練習）
10月	
11月	
12月	
１月	
２月	
３月	

授業外学習	
考査出題方針	授業での講義内容を中心にノートを提出。
課題・提出物	
評価の観点	①関心・意欲・態度　②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義中に課す技術テスト及びノート
評価について	

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術Ⅰ (メイク)	1	キャリア養成学科 ２年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　間島　悠
教科に係る実務経験等	美容室勤務３年　化粧品会社３年　メイク講師７年
使用教材	必要に応じてプリントを配布
副教材等	

講義の概要
流行メイクではなく社会人に必要なキャリアメイクの知識及び技術を身につけさせる。 面接や履歴書に必要なメイク講義、実技のﾃﾞﾓﾝｽﾄﾚｰｼｮﾝを組み合わせた形式で実施する。
授業の到達目標及びテーマ
社会人に必要なヘアアレンジとメイクの知識や技術を身に付ける。

授業計画	
４月	
５月	
６月	
７月	
９月	
10月	メイクアップの基礎知識について理解を深める。（化粧の心理効果、技術者の身だしなみ）
11月	面接や履歴書用写真に必要なキャリアメイクの知識や技術を把握する。
12月	スキンケア、ベースメイクの知識と技術を把握する。（手順、施術方法、反復練習）
１月	スキンケア、ベースメイクの知識と技術を把握する。（手順、施術方法、反復練習）
２月	フルメイクの技術を習得する（手順、施術方法）
３月	フルメイク、ヘアセットの技術を身につける。（反復練習）

授業外学習	
考査出題方針	授業での講義内容を中心にノートを提出。
課題・提出物	
評価の観点	①関心・意欲・態度　②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	講義中に課す技術テスト及びノート
評価について	

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術 (ペン習字)	０．５	キャリア養成１年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　日髙　知佳
教科に係る実務経験等	実務経験８年　南日本書道会　書道・硬筆師範
使用教材	南日本硬筆、硬筆書写技能検定２・３級教本
副教材等	筆ペン、ボールペン等

講義の概要
社会人として必要な文字の基礎知識を学び定着させる。 授業は、配付資料を使って講義と演習、実技を行う。
授業の到達目標及びテーマ
1　基本的な文字の書写ができるようになること。 2　ボールペン、筆ペンを用いて書写水準の向上。 3　文字を用いて、人へ伝えることの大切さを学ぶ。

授業計画	
４月	ボールペンを用いて、平仮名・カタカナ
５月	筆ペンを用いて、平仮名・カタカナ
６月	平仮名（万葉仮名）の歴史について、行書
７月	葉書・のし袋の書き方の実践及び、文書の作成
９月	前期試験の実施、作品製作

授業外学習	単元に応じて確認テスト（宿題も含む）を行い、復習を行う。
考査出題方針	授業での内容を中心に出題し、発展問題も出題する。
課題・提出物	
評価の観点	①意欲・態度 ②技能　③知識・理解の３観点を総合的に評価する。
評価方法	講義中の演習・実技の中で、向上心を持って行うことができるか。考査の成績、提出物の状況、参加状況により評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術Ⅰ (ペン習字)	０．５	キャリア養成２年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　日髙　知佳
教科に係る実務経験等	実務経験８年　南日本書道会　書道・硬筆師範
使用教材	南日本硬筆、硬筆書写技能検定２・３級教本
副教材等	筆ペン、ボールペン等

講義の概要
社会人として必要な文字の基礎知識を学び定着させる。 授業は、配付資料を使って講義と演習、実技を行う。
授業の到達目標及びテーマ
１　基本的な文字の書写ができるようになること。 ２　ボールペン、筆ペンを用いて書写水準の向上。 ３　文字を用いて、人へ伝えることの大切さを学ぶ。

授業計画	
10月	ボールペンを用いて、平仮名・カタカナ
11月	筆ペンを用いて、平仮名・カタカナ
12月	平仮名（万葉仮名）の歴史について、行書
１月	葉書・のし袋の書き方の実践及び、文書の作成
２月	前期試験の実施、作品製作
３月	作品製作

授業外学習	単元に応じて確認テスト（宿題も含む）を行い、復習を行う。
考査出題方針	授業での内容を中心に出題し、発展問題も出題する。
課題・提出物	
評価の観点	①意欲・態度 ②技能　③知識・理解の３観点を総合的に評価する。
評価方法	講義中の演習・実技の中で、向上心を持って行うことができるか。考査の成績、提出物の状況、参加状況により評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
韓国語	2	キャリア養成2年コース	2年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　新村　恵子
教科に係る実務経験等	韓国語講師歴　３０年以上
使用教材	ぐんぐん伸びる韓国語
副教材等	基本接客フレーズ、DVD

講義の概要
韓国の文化等基本知識を身につけ意欲の向上のため目標を持たせる。
授業の到達目標及びテーマ
1　簡単な日常会話を話せるようにする。 2　聞く、話す、書くを習慣付ける。 3　韓国語検定試験5級を目指す。

授業計画	
４月	韓国語の仕組み（基本母音、子音）を習って自分の名前を書く。
５月	自己紹介、１課本文の理解と発音、短い文の暗記
６月	接客のあいさつ、２課の本文の理解と発音
７月	接客用語（案内、確認）
９月	前期末試験の実施。３課本文の理解と発音、短い文の暗記
10月	接客用語（予約、電話の聞き取り）
11月	４課本文の理解と発音、短い文の暗記
12月	接客用語（観光案内、タクシー、バスの乗り方）
１月	５課本文の理解と発音、短い文の暗記
２月	学年末試験の実施。
３月	接客用語（病気、けが、火災等注意事項）

授業外学習	
考査出題方針	授業での講義内容を中心に、指定された課題からも出題する。
課題・提出物	毎回宿題を出す。
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	テスト、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
韓国語	1	キャリア養成1年コース	1年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　新村　恵子
教科に係る実務経験等	韓国語講師歴　３０年以上
使用教材	ホテル･旅館で使う　英中韓　３カ国語
副教材等	基本接客フレーズを中心に学ぶ

講義の概要
韓国の文化等基本知識を身につけ意欲の向上のため目標を持たせる。
授業の到達目標及びテーマ
1　簡単な日常会話を話せるようにする。 2　聞く、話す、書くを習慣付ける。 3　韓国語検定試験5級を目指す。

授業計画	
10月	韓国語の仕組み（基本母音、子音）を習って自分の名前を書く。
11月	自己紹介、１課本文の理解と発音、短い文の暗記
12月	接客のあいさつ、２課の本文の理解と発音
1月	接客用語（案内、確認）
2月	３課本文の理解と発音、短い文の暗記
3月	接客用語（病気、けが、火災等注意事項）

授業外学習	
考査出題方針	授業での講義内容を中心に、指定された課題からも出題する。
課題・提出物	毎回宿題を出す。
評価の観点	①関心・意欲・態度 ②思考・判断・表現　③技能　④知識・理解 の４観点を総合的に評価する。
評価方法	テスト、提出物の状況、学習活動参加状況等で評価する。
評価について	別途指示

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術 (パーソナルカラー)	０．５	キャリア養成１年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　堂原　典子
教科に係る実務経験等	フリーカラリストとして専門学校非常勤講師歴20年以上
使用教材	色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト（モジュール1:初級） JPCAパーソナルカラー配色カード　PCCS新配色カード199a
副教材等	PCCS色相環＆トーン掛図　ドレープ

講義の概要
パーソナルカラーと色彩の基礎知識 カラーカードやドレープ等で演習を行う
授業の到達目標及びテーマ
客観的に色を識別できる目を養う 選択・提案する色を理論的に説明できるようになる

授業計画	
４月	色のなりたち
５月	色の属性
６月	フォーシーズン分類　パーソナルカラー診断実習
７月	夏休み課題
９月	まとめ

授業外学習	テキストの予習・復習（テキストの練習問題を解く） プリント作成（カラーカードの切り貼り等）
考査出題方針	テキストより出題　理論とカラーカードによる色の識別
課題・提出物	夏期課題
評価の観点	授業内容の理解、理論的な説明、授業態度、色の識別等
評価方法	授業出席状況、プリント作成状況、課題等
評価について	

科　目　名	単位数	コース	学年	履修について
表現技術Ⅰ (パーソナルカラー)	０．５	キャリア養成２年コース	１年	必修

担当教員	職名　非常勤講師　　氏名　堂原　典子
教科に係る実務経験等	フリーカラリストとして専門学校非常勤講師歴20年以上
使用教材	色彩技能パーソナルカラー検定公式テキスト（モジュール1:初級） JPCAパーソナルカラー配色カード　PCCS新配色カード199a
副教材等	PCCS色相環＆トーン掛図　ドレープ

講義の概要	
パーソナルカラーと色彩の基礎知識 カラーカードやドレープ等で演習を行う	
授業の到達目標及びテーマ	
客観的に色を識別できる目を養う 選択・提案する色を理論的に説明できるようになる	
授業計画	
10月	色のなりたち
11月	色の属性
12月	冬休み課題
１月	フォーシーズン分類　パーソナルカラー診断実習
２月	まとめ
３月	

授業外学習	テキストの予習・復習（テキストの練習問題を解く） プリント作成（カラーカードの切り貼り等）
考査出題方針	テキストより出題　理論とカラーカードによる色の識別
課題・提出物	冬期課題
評価の観点	授業内容の理解、理論的な説明、授業態度、色の識別等
評価方法	授業出席状況、プリント作成状況、課題等
評価について	